

# 第5次津別町総合計画策定審議会

～ 9つの部会別調査検討本格化～

## 安全運転呼び掛ける 津別高校生が絵馬を配る

12月19日、津別高校生が交通安全の標語が書かれた絵馬80枚をドライバ―に手渡し交通安全を呼びかけました。

この呼びかけは10年以上続いていて、参加した12人の生徒たちは「気をつけて車の陰にまた車」や「実際ね事故0(ゼロ)なんてあたりまえ」、「別にいいそんな思いがつかなく事故」と書かれた絵馬7種類を配り、交通ルールの重要性をアピールしてしました。風紀委員長の曾根康順さんは、「絵馬を見て交通安全に少しでも気をつけてくれたらうれしいです」と話してくれました。



## たのしい仲間と鍋を食べる 一人暮らしの集いに72人参加



1月14日、町民会館で「一人暮らしお年寄りの集い」(社会福祉協議会主催)が行われ、町内の65歳以上のお年寄り72人が参加し、おいしい料理を食べたりゲームで楽しい時間を過ごしました。

この日は寄せ鍋、赤飯、茶碗蒸しなどボランテイアによる豪華なメニューが用意され、みんなで食べる。馳走に会話も弾み笑顔が溢れていました。昼食後には景品がかかったビンゴゲームや脳を使ったクイズ問題に挑戦しました。参加者は「いろんな人とたくさん話ができとても楽しいです。いつもあればいいと思います」と話してくれました。

## 今年も子どもたちの冬休みを利用して たスキーとスケートの教室が開催され、寒さの厳しい冬のスポーツに挑戦しました。

1月7日から9日の3日間、少年少女スケート教室と初心者・親子スキー教室、スキー連盟主催が行われました。町民スケートリンクで開催されたスケート教室には9人の小学生が参加。体育指導員と一緒にパイプ椅子を押しながら滑る感覚を身につける練習などを行いました。

また、共和町民スキー場で行われた親子スキー教室には約20人の園児や低学年、お父さん、お母さんが一緒に練習を行いました。



## 寒い冬のスポーツに挑戦! スキー・スケート教室開催

## 日々の運動が『元気』を創る シルバースポーツスクール開催



元気に体が動くうちから運動を日常化させ体力を維持し、健康的な生活を送ることを目的に、60歳以上の方を対象にしたシルバースポーツ教室が12月から3月まで行われています。この教室は、自宅でも気軽に出来る筋力トレーニングや脳のトレーニングなどが学べるとあって、毎週15人ほどの方が心地よい汗を流しています。

1月16日の教室では、体育指導員と一緒に座りながら指先を動かしたり手足を伸ばす運動などを行いました。参加している人からは「終わってから次の教室まで無理なく続けられるのが楽しみです」と話してくれました。

行つ。

住民活動部会 『住民ふれあいコミュニケーション』構想』を優先重点課題に設定。趣旨は、世代間交流や生きがいを求める社会参加。自治会・老人クラブ・障害者などを含めた活動の構築に向け、現状を検分しながら検討。今後は、老人クラブの会館利用エリヤマップの作成、サークル等の公共施設利用実態調査、自治会老人クラブの活動実態調査を行う。

産業部会 『産業の付加価値創造』を優先重点課題に設定。今回は、農業と林業について、現状の問題点や課題について協議。次回は、建設業・商業・観光等の現状把握を深め、課題解決の検討を進め、取り組むべき方向を見出す。

環境・みどり部会 『自然活用行動計画』に優先重点課題を設定。先に行われた部会討議結果一覧から環境部会に該当するものを抜粋し、自然を柱として「環境」「産業」「人づくり」「情報」に係るものうち、「今すぐに活用できるもの」「時間をかけて活用していくもの」「活用することを目標とするべきもの」に区分した。次回は上記の分類を基にして整理検討する。また、今回の討議に先立ち独自の協議を行う。

活況方面部会 地域の現状と問題点や地域資源をどのように活用するかについて討議。その結果、『活況グリーン・ツーリズム構想(仮称)』を優先重点課題に設定。今後は、これまでの協議結

1月21日に第7回津別町総合計画策定審議会が開催され、専門分野毎の優先重点課題について、前回に引き続き9つの部会で調査検討の討議が行なわれました。

開会にあたり原田策定審議会議長より、「先の審議会において、5つのまちづくりのテーマと『田園工房のまち・つべつ』をキー・コンセプトとした3つの戦略プロジェクトが承認されました。物や自然どころか人をも粗末に扱われる昨今の殺伐とする社会環境の中にあつて、私たち自身が手の届くこの町だけでも、人を思いやり、物を大切に、そして自然と共生するまちづくりと人づくりを進めていきたい。」

3月まで審議会に与えられた課題は、専門分野別の優先重点課題の解決に向けた調査検討。並行して行政側では、先の部会討議結果を受けて基本構想づくりと3つの戦略プロジェクトに関する各団体や企業との折衝を始め条件整備や課題整理が行われます。今後審議会としても精力的な調査検討作業を進めて参りたい。皆さんのご協力をお願いしたい」と挨拶がありました。

事務局から、戦略プロジェクトに関するし、4月以降においては、3月までの行政側の調査検討結果をベースに、策定審議会に10人程度からなる戦略プロジェクトに関する新たな部会を3つ設置し、実現可能なプロジェクトに仕上

けていくこととし、詳細は、今月末の第6回策定委員会で作業の内容を煮詰めて行きます。特に新たな3つの部会の設置については、3月以降に開催される策定審議会にご提案し、策定審議会としての進め方を決めていきたい」と考え方の報告がありました。

【部会の優先重点課題の調査討議概要】生活部会 『生活館構想』を優先重点課題に設定。その具体化に向け現状の問題点や課題を協議。趣旨は、子供からお年寄りまでが利用できる総合施設とすること。課題は運営母体。利用度を高めるため交通手段の確保も欠かさない。次回まで先進地の事例を研究し構想を仕上げていく。

保健福祉部会 『子どもを大切に育てるまちづくりプラン』を優先重点課題に設定。今回は、これまで町が取り組んでいる事業を検証し、更に拡充する事業や新たに取り組む事業について協議。次回はもう一つの優先重点課題『健康づくり企画』を検討することを確認。

教育部会 『津別を学び楽しむ人づくり自然・産業・文化と触れ合う教育の充実』を最優先重点課題に設定。今回は、農業や林業など津別の環境を生かした「ふるさと教育としての体験学習」と、特別支援教育や少人数学級など個人を伸ばす「子ども一人ひとりを大切にする教育」の現状や課題について検討。今回は、社会教育について検討を

【今回の第8回策定審議会について】  
日時 平成21年2月24日(火曜日)  
18時30分  
場所 津別町中央公民館  
公開開催の策定審議会です。町民皆様の多数のご来場をお待ちしています。なお、これらの計画づくりの概要などについては、引き続き広報や町のホームページに掲載していくこととしています。